

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3390	2,3610	2,3700	2,3980	2,3970	-0,0010
	USD/YEN	Spot	104,16	104,20	104,41	103,21	102,24	-0,9700
Swap	EUR/USD	Spot	1,3530	1,3567	1,3549	1,3549	1,3682	+0,0133
	BRL/YEN	Spot	44,46	44,08	44,00	43,00	42,64	-0,3600
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,56	1,58	1,64	1,75	1,62	-0,1310
		1Year(p.a.)	1,97	1,96	2,02	2,17	2,05	-0,1260
Real Interest	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,77	10,83	10,85	10,91	10,88	-0,0300
		1Year(p.a.)	11,03	11,09	11,11	11,19	11,15	-0,0379
Stock	Bovespa		48.708	48.542	49.300	48.321	47.787	-533,26
Bond	CDS Brazil 5y		196,54	194,47	199,00	199,00	204,17	+5,1700
	Global 40		113,550	113,850	113,875	113,825	113,800	-0,0250

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FGV消費者信頼感	--	108.9	111.2	なし
経常収支	-\$6750M	-\$8678M	-\$5145M	
対内直接投資	\$5500M	\$6490M	\$8334M	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2. 3400 で寄り付いた。
- 週初は米国市場が祝日で休場のためレアル相場の流動性は極めて低い展開となる中、レアルは寄り付き後に伯中銀によるドル売り介入や PTAX 決定に向けてのドル売り需要が強く、約 3 週間振りに 2.33 台を上抜け上昇し、週間高値となる U\$1=R\$2. 3280 を付けた。
- しかし翌 21 日には米資産購入縮小が継続されるとの見方が強まったほか、PTAX 決定に向けてのドル買い需要が強くレアルは 2.36 台後半まで反落した。
- 週央にかけてレアルは一時的に小反発するも、来週の米 FOMC を控えてドルが対主要通貨で上昇するとレアルは 2.36 台後半まで売り戻された。
- 翌 23 日には 1 月の中国 PMI 速報値が昨年 12 月改定値 (50.5) から低下したことが嫌気されたほか、アルゼンチンペソを中心にエマージング通貨が対ドルで大きく下落したことが嫌気されるとレアルもつられて 2.40 台まで急落した。
- 週末にかけてはドル高傾向が続き、レアルは週間安値となる U\$1=R\$2. 4330 まで下落した後、じりじりと買い戻され結局 U\$1=R\$2. 3970 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧説を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
1/27	FIPE CPI-週次	jan/23	0.86%	0.83%
1/27	貿易収支(週次)	jan/26	--	-\$1475M
1/27	Federal Debt Total	Dec	--	2069B
1/28	FGV建設コスト(前月比)	Jan	0.59%	0.22%
1/29	ローン残高(前月比)	Dec	--	1.5%
1/29	融資残高	Dec	--	2647B
1/29	個人ローン・デフォルト率	Dec	--	6.7%
1/30	FGVインフレIGPM(前月比)	Jan	0.49%	0.60%
1/30	FGVインフレIGPM(前年比)	Jan	5.67%	5.51%
1/30	PPI 製造業(前月比)	Dec	--	0.62%
1/30	PPI 製造業(前年比)	Dec	--	5.47%
1/30	失業率	Dec	4.4%	4.6%
1/30	中央政府財政収支	Dec	14.2B	28.8B
1/31	基礎的財政収支	Dec	11.0B	29.7B
1/31	純債務対GDP比	Dec	33.9%	33.9%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.38—2.43

今週のレアル相場は週間で約 5%も上下し、ボラティリティーの高い展開となった。米 FOMC を控えてドル買いが強まつたほか、アルゼンチンペソが 12 年振りに大幅下落となった。その結果他のエマージング通貨でも大幅に売られ、レアルもつられて 2.4330 まで下落した。アルゼンチンは 27 日より貯蓄のために所得に応じた額のドルを購入することができる発表し、2 年余り前に設けた外貨購入制限を緩和した。来週はアルゼンチンの通過規制緩和が好感され、エマージング通貨の売りが落ち着くと想定、レアルも買い戻されるであろう。また、重要な経済指標の発表が多い中、米 FOMC が一番注目されるが、近日に発表された米経済指標がまちまちな結果となったことから来週の会合では資産購入のペースを更に落とすと考えがたい。そのため、ドル買いの動きも限定的となり、レアル相場のボラティリティーは減少するであろう。